

デートDV講演

ウィメンズネット和歌山と女性と子供ネット堺の方々を講師に迎え、7月6日(木)6限に実施しました。「自分も相手も大切に」と題して、最初に「あなたへの質問票」をもとに話がありました。続いて生徒会執行部のメンバーが寸劇を行い、いわゆるDV(ドメスティック・バイオレンス)の場面を演じました。最初の寸劇は、男性から女性への典型的なDVの例でしたが、2番目の、彼女が彼氏のスマホをとりあげて他の女の子とのラインをブロックした寸劇は、女性から男性に対してのDVの例でした。続いてパワーポイントを使った講義があり、DVの原因と現状について話がありました。



最後にまとめとして、「愛に束縛や暴力はないこと」、「対等でお互いに尊重する関係が必要」との話がありました。そして何よりも、相手の立場になって考えることが大事だと思います。これは、DVだけでなく、すべての人権に係る問題に言えることですね。

寸劇は、少し恥ずかしかったかもしれませんが、生徒会のみなさん、ご苦労様でした。

クラスマッチ

7月11日(火)と12日(水)に、男子はサッカー、卓球、バドミントン、女子はバレーボール、卓球、バドミントンの各種目で球技大会を開催しました。3年生はクラス毎にデザインしたTシャツを作成し、一体感を高めて盛り上がりました。全体的に非常にマナーがよく集合もスムーズで、今年はクラスマッチを二日間で実施することができました。運営にあたった生徒会執行部、体育委員のみなさん、ご苦労様でした。

結果は下記のとおりです。ちなみに教員チームは女子バレー準優勝の3Cと対戦しましたが、完敗だったそうです。

卓球				
1位	3C	内海靖士 寒川広夢	3A	稲垣優香 柏結菜
2位	3A	瀧本愛也 山本歩夢	3D	榎原七海 中川裕菜
3位	3C	辻本瑠星 山本秀磨	3D	岡本夏歩 小松泉

バドミントン				
1位	3B	岩谷翔馬 廣畑悠貴	3D	出嶋雅 柳瀬杏美
2位	2C	大岡諒真 高田紅恋	3C	岡脊涼音 木下美玲
3位	1B	菊池彪冴 西凌央	1D	竹村日菜 前島陽香

	サッカー	バレー
1位	2A	1B
2位	2B	3C
3位	1B	2B



2年生進路研究会

2年生72名は、7月13日(木)に大阪市のインテックス大阪で開催された、マイナビ進学フェスタに参加しました。当日は8時30分に串本を出発、会場では事前にリストを見て決めた複数の学校(ブース)をまわりました。大学、専門学校とも突っ込んだ質問ができて、詳しい話を聞くことができたことと好評でした。15時過ぎに大阪を出ましたが、もう少し時間が欲しかったという人も多かったようです。

以下に、いくつか感想を載せておきます。

「一番に思ったことは、国立と私立とではかかるお金が違うので、国公立に行きたいと思った。」「オープンキャンパスになかなか行けない中で、大学のいいところや入試制度、地域の関係、自分の興味のある学部について話を詳しく聞くことができたので、いい機会になった。」「少しわがままを言わせていただければ、もう少し時間をもらいたかった。」「(前略、また)自分の進路とは違う大学の話を聞けることはなかなかないので、とてもいい体験だったと思う。」「自分がどこに進むか決めているけれど、それでも他の学校の話聞くことは有意義なことだった。」



当日は多くの人に参加(4500人以上?)したようです。しかも一番人出が多い時間帯に参加したようで、満員電車のようなブースもあったようです。しかし、受験は日本全国が舞台で、非常に多くの人と鏝(しのぎ)を削るんだということも、実感できたと思います。

この経験を糧にして、あらためて自分の進路実現に努力して下さい。

1 学期終業式

7月20日(火)に実施しました。式辞の中で校長先生が、アメリカのアイビーリーグと呼ばれる8つの名門大学の内、7つの大学から合格通知をもらったルーク・ケンワージー(Luke Kenworthy)さんのエッセイを紹介しました。そこには、自らの課題に気づきそれを克服していった様子が書かれており、そのように、「自分を磨くこと」の大切さを強調し、最後は、自分を磨ける体験、夏休みにしかできないことに取り組んで欲しいと締めくくりました。

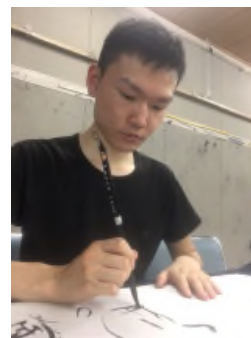


夏休みと言っても、3年生には正念場です。そしてまだまだ、自分を磨くことができます。進学補習、就職希望生徒への面談や面接指導など、やらなければならないことを着実にこなし、それぞれの進路実現を目指して頑張ってください。

教育実習生から

6月に本校で教育実習を行った二人からメッセージが届いているので、ご紹介します。
○中村学行 教育実習で三週間お世話になりました、東京学芸大学四年の中村学行です。教科は書道を指導しました。

実際に授業をしてみて、どのように指導すれば生徒の力をより伸ばすことができるのかに悩み、いつも難しいと感じていました。また、実技教科ということもあり、自分が書いている姿が模範となるという意識はとても緊張感がありました。様々な課題や難しさを感じ、指導することの大変さを大いに実感した実習でしたが、生徒が書いた清書から成長した書きぶりを確認できたことはとてもうれしかったです。また、私が配属になったクラスの生徒ともホームルームや放課後で毎日関わり、短い期間でしたが大切な時間を過ごすことができました。



この実習でたくさんのお話を学ぶことができ、周りの方々に本当に感謝しています。充実した三週間となりました。ありがとうございました。

○戸瀬葉月 皆さんと仲良くやっていけるのか不安でいっぱいだった3週間の教育実習も気づけばあっという間に終わってしまいました。実習では保健室にすることが多いので、生徒の皆さんと関わる機会が少ないのではないかと考えていたのですが、保健室でもたくさんのお話があり、また教室や部活動でも学年を問わず「先生!」とたくさん声をかけていただきとても嬉しかったです。温かい先生方と生徒の皆さん一人ひとりに心から感謝の気持ちでいっぱいです。養護教諭の実習だけでなく人としても成長することができたこの貴重な経験や、喜び・楽しみ・新しい発見であふれた生徒の皆さんとの思い出は忘れられない宝物です。本当にありがとうございました。

